

# まんまる Press

2018年秋号



Human と Animal でつくる暮らしの和  
ひゅーまん + あにまる = まんまる!

# まんまるプレスは

## 新潟市動物愛護推進員の広報誌です♪

♥ 今年度もまんまるプレスは未来を担う  
お子様向けの内容になっております ♥

### 目次

新潟市動物愛護推進員ってなに？

推進員シリーズ

おしごとをする犬

その4 さいがいきゅうじょけん

推進員が

西区のペット同行避難訓練

に参加してきました

推進員が

ふれあいボランティアとして

ふれあいボランティア活動に役立つ

ストレスサインの見分け方とトレーニング

に参加しました

推進員の紹介

推進員てどんな人？

# 新潟市動物愛護推進員ってなに？

推進員は人と動物が住みよい  
やさしい世の中をめざすボランティア

「新潟市動物愛護推進員」は、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、新潟市が委託をしています。

地域の身近な相談員として、動物に関する知識や経験を生かして、動物の飼い方を助言したり、動物の愛護と適正飼養の普及啓発活動など積極的・自主的な活動を行うボランティアです。

推進員の多くは公募によって選出されています。

その中には獣医師など動物飼育に関して高い意識と知識を持った人もいますが、何らかの形で動物愛護に係わっている人も何人かいます。

一般市民の方では、大好きな動物のため・社会のために何かをしたいと思って応募した方がほとんどです。



人と動物が住みよいやさしい社会を実現するには、  
動物と地域社会に深いかかわりを持つ住民の方が積極的  
・主体的に地域に根ざした動物愛護を進める必要があります。

動物愛護とは動物にやさしい社会のことです。  
動物にやさしい社会は、実は人間にとっても住みよい  
やさしい社会になります。

動物を飼っている人も、飼っていない人も、好きな人も、  
キレイな人も、どんな人にもやさしい社会。

新潟市動物愛護推進員はそういった社会を目指しています。



～人と動物、住みよい新潟市をめざして～

新潟市では来春、新たに協力していただける推進員を公募する予定です。詳細は下記までお気軽にお問合わせください

(^^♪

新潟市動物愛護センター

TEL 025-288-0017

Mail [dobutsuaigo@city.niigata.lg.jp](mailto:dobutsuaigo@city.niigata.lg.jp)

いぬ 犬は大むかしから<sup>わたし</sup>私たちヒトのともだちでした。

いまではいろいろなおしごとをしてたすけてくれる犬が  
たくさんいます。そんなおしごとをする犬を<sup>いぬ</sup>しょうかいします。

# おしごとをする犬

## その4 さいがいきゅうじょけん



<sup>じしん</sup>地震などで<sup>たす</sup>助けを<sup>ひつよう</sup>必要としている人が出た場合に、<sup>きゅうかく</sup>するどい嗅覚(においをかぐ<sup>ちから</sup>力)を使って<sup>さが</sup>探します。「いざ<sup>しゅつどう</sup>出動！」というときに<sup>そな</sup>備えて、つねにいろいろな<sup>くんれん</sup>訓練をしています。

さいがい きゅうじょけん しゅるい  
～災害救助犬の種類～

<sup>じしん</sup> <sup>きゅうじょけん</sup>  
地震救助犬

<sup>じしん</sup> 地震などで<sup>いえ</sup>家がこわれてしまった<sup>ばしょ</sup>場所でいなくなった<sup>ひと</sup>人を<sup>さが</sup>捜します。

<sup>さんがく</sup> <sup>きゅうじょけん</sup>  
山岳救助犬

<sup>やま</sup> <sup>まよ</sup> 山で迷ってしまったりして<sup>かえ</sup>帰ってこ<sup>ひと</sup>ない人を<sup>さが</sup>捜します。

<sup>すいなん</sup> <sup>きゅうじょけん</sup>  
水難救助犬

<sup>うみ</sup> <sup>みずうみ</sup> <sup>おぼ</sup> 海や湖で溺れた<sup>ひと</sup>人を<sup>たす</sup>助けます。



新潟市動物愛護推進員として

## 西区のペット同行避難訓練

に参加してきました。



ワンコ9匹にゃんこ4匹の参加



いつものお散歩と違う…、立ち止まってしまうワンコもいました。



チームにゃんこ！



どこに連れていかれるにゃ？



APITA様ご協力のもと、水害を想定したペット同行避難訓練。

# 新潟日報の 記事になりました



参加者に配られました



この日は蒸し暑かった



パパ、もしもの時も一緒だね

新潟市動物愛護推進員 伊藤詠理



ふれあいボランティアとして  
ふれあいボランティア活動に役立つ  
ストレスサインの見分け方とトレーニング

中級セミナー

に参加してきました。



中島先生



ふれあいボランティアとは・・・？ 新潟市動物愛護協会の認定を受けたボランティアです。自分の犬を連れてご高齢者の施設を訪問し、犬とふれあっていただく活動をしています。  
中島先生からは、犬連れの訪問活動をする上で知っておかなくてはいけないことを、坂井先生からはボランティア犬に必要なしつけなどについて教えていただきました。



坂井先生

新潟市動物愛護推進員 石川安津子



西区の神田照子です。  
シーズーの保護犬を迎えた事が  
きっかけで推進委員の活動に参加  
しました。前期高齢者の夫婦  
と高齢ワンコで頑張っ  
ています。ワンコのお陰で  
ハッピー家族です♪




西区の毛島悠介です。  
以前柴犬を飼っておりました、推進  
委員の活動を通してワンちゃんや  
猫ちゃんに対する見識を  
深めたいと思い参加させて  
いただいております。  
宜しくお願いします。



西蒲区の小林程子です、のりこと  
読みます。今うちには3匹の猫がい  
ます。3才、2才、1才、しかも



毛色は黒、茶とら白、三毛で  
一色二色三色  毎日  
運動会しています。  
よろしくお願いいたします。

江南区の捧三代子です。  
子育ても終わり、夫とワンニャン  
と仲良く暮らしています。

特にペチャ顔の犬が  
大好きです。



江南区在住の斎藤日呂光です。  
センターから譲渡された猫3匹、  
路上で保護した猫1匹も一緒に  
暮らしています。人間の  
せいで不幸になる動物が  
少しでも減りますように。

